



外壁用部材

通気用深形フード

メルコエアテクノロジー

取扱説明書（据付説明書付）

この製品は、各建物の換気用通気口として屋外側のダクトの先端に据付けて使用するものです。
 ■この製品の性能・機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。
 ■据付けを始める前に、この説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。
 ■据付けは販売店・工事店様が実施してください。

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

ご使用の前に説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
 なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
 This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

タイプ	適用パイプ口径 (mm)
AT-100	φ100
AT-150	φ150
AT-200	φ200

●適用パイプの種類…スパイラルダクト、硬質ポリ塩化ビニル管（VU）、
 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
 ※φ150タイプ以上は硬質ポリ塩化ビニル管（VP）には据付けできません。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

	警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
	●常時振動したり、振動しやすい場所には据付け ない（落下によるけがの原因）
	●本体の据付けは、十分強度のあるところを選んで 確実に行う（落下によるけがの原因） ●必ず定期的（1年以内ごと）に点検を行う
指示に従う	

	注意 誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
	●据付けやお手入れの際は、手袋を着用する （着用しないとけがの原因）
指示に従う	

据付け前の準備

据付け前に下記のものををご用意ください。

・シーリング材（JIS A 5758適合品のシリコン系、変成シリコン系）

<木ねじによる据付けを行う場合>

・ステンレス製木ねじ（呼び径3.5～3.8、長さ20mm以上）
 ※カールプラグは、金属製木ねじプラグ 品番#8または、カールPCプラグ 品番6（木ねじの長さに合わせて選定してください）
 ※腐食の発生原因となりますので、金属部品は必ずステンレス製をご使用ください。

据付け前のお願い

- 使用環境が－30℃～50℃の範囲になる場所で使用してください。
- 重塩害エリアには、必ず重塩害エリア用（受注対応品）をご使用ください。
- この製品は汚染ガス耐力（酸、薬品、温泉害など）を持たせたものではありません。下記のような場所での使用は腐食が急激に進み、寿命が著しく低下するおそれがありますので特にこまめな点検・清掃および早めのお手入れが必要です。
 - ・化学工場、パルプ工場などの構内およびその周辺地域
 - ・工場、学校等の実験室などで化学薬品を使用する場所
 - ・温泉地域やプール、下水の排気などの用途
 - ・その他、腐食性物質、腐食性ガスの発生する場所
 - ・融雪剤が飛散する場所
- 点検・清掃や部品の交換が容易にできるところへ据付けてください。
- ダクトには、雨水の浸入を防ぐため、屋外へ向けて下りこう配をつけてください。
 （排気ダクト：1/100以上、給気ダクト：1/30以上）
- 気象状況によっては雨水が浸入するおそれがあります。
- 据付けに支障がないよう、ダクトが外壁面まで配管してあるか確認してください。外壁面より飛び出た部分は予め切断してください。
- 有機溶剤や酸・アルカリ洗剤が直接触れると塗装のはく離や製品各部の変色、腐食の原因となります。必ず下記の方法としてください。
 - ・タイル仕上げの外壁…
必ずタイルの酸洗い後に製品を据付けてください。
 - ・吹付塗装仕上げの外壁…
必ず吹付塗装後に製品を据付けてください。
- 製品据付け後、酸洗いや吹付塗装を実施する場合は、有機溶剤などが製品に触れないように必ず養生テープなどで養生してください。
 また、養生テープをはずした後は、必ず製品を水洗いしてください。
- 網より小さい虫（ショウジョウバエ、ウンカなど）は侵入するおそれがあります。
- 室内側からの汚染空気や設置環境により、外壁面が汚れることがあります。
- 下記条件に該当する場合は、必ず木ねじによる据付けを行ってください。
 - ・スプリングによる固定が困難な場合
 - ・外風が強い場所に据付ける場合
 - ・据付けが不安定な場所

据付方法

据付方法は右記表を参照し、選定してください

適用パイプの種類	据付方法			
	口径	φ100	φ150	φ200
スパイラルダクト		①	①	②
硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)		①	—	—
硬質ポリ塩化ビニル管 (VU)		③	③	③

お願い

据付けが不安定な場合や外風が30m/s以上吹く可能性のある場所に据付ける場合は、適用パイプにかかわらず据付方法③を選定してください。

据付方法①（パネで固定）

- フードを据付ける前にパイプガイドにシーリング材を塗布する。（防水処理および落下防止）
- 開口部が下側になるようにして、外壁面まで配管されたダクトに差し込む。
- フード全周およびワイド水切板下部と外壁面のすき間にシーリング材を塗布する。（防水処理および落下防止）
※図のようにワイド水切板の端部はシーリング材を薄くし、ヘラ等でならして防水処理をしてください。

据付方法②（ねじ固定）

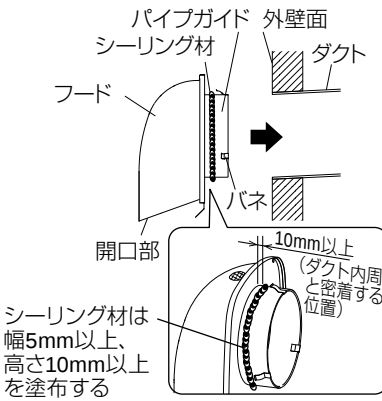
- 木ねじの据付位置は左図を参照する。
※コンクリート壁面や木ねじによる固定が確保できない壁面などは、カールプラグをご使用ください。ご使用の際はカールプラグの注意事項を参照してください。
- フードを据付ける前にパイプガイドにシーリング材を塗布する。（防水処理および落下防止）
- 開口部が下側になるようにして、外壁面まで配管されたダクトに差し込み、ねじ据付用穴をステンレス製木ねじで確実に固定する。
- フード全周およびワイド水切板下部と外壁面のすき間にシーリング材を塗布する。（防水処理および落下防止）
※図のようにワイド水切板の端部はシーリング材を薄くし、ヘラ等でならして防水処理をしてください。

据付方法③（ねじ固定）

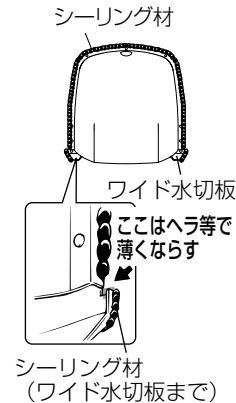
- 左図を参照してあらかじめ外壁面にφ4.8、深さ45mmの穴を4か所あけ、カールプラグを挿入する。
- フードのノックアウト据付用穴4か所をドライバーなどで抜く。（外形寸法図参照）
- フードを据付ける前にパイプガイドにシーリング材を塗布する。（防水処理および落下防止）
- 開口部が下側になるようにして、外壁面まで配管されたダクトに差し込み、ノックアウト据付用穴をステンレス製木ねじで確実に固定する。
- フード全周およびワイド水切板下部と外壁面のすき間にシーリング材を塗布する。（防水処理および落下防止）
※図のようにワイド水切板の端部はシーリング材を薄くし、ヘラ等でならして防水処理をしてください。

シーリング材塗布方法

■パイプガイドへの塗布

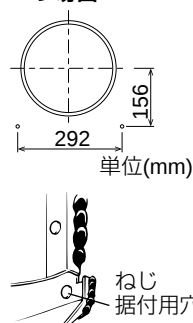


■製品全周への塗布

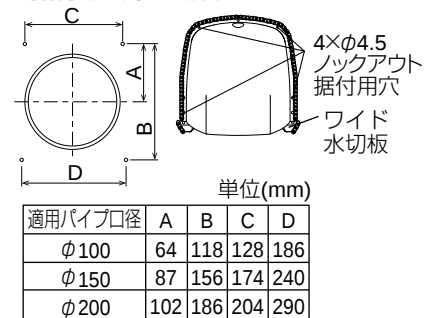


ねじ据付穴寸法

■据付方法②の場合



■据付方法③の場合



適用パイプ口径	A	B	C	D
φ100	64	118	128	186
φ150	87	156	174	240
φ200	102	186	204	290

お手入れ

※安全にご使用いただくために、必ず定期的な点検・清掃を行ってください。

点検項目

- 製品の据付け状態は正常であるか？
- シーリング材に亀裂などの劣化はないか？
- ねじ類に緩みなどないか？
- 製品各部に腐食や塗装の浮きなどがないか？
- 樹脂部品に割れなどがないか？

※点検の結果、異常が見つかった場合は、修理・部品（製品）の交換をお買い上げの販売店、工事店に依頼してください。

清掃

■塩害エリア・重塩害エリアや融雪剤の影響を受ける設置環境では、付着した塩分などを除去するため定期的（1年以内ごと）に水洗いを行ってください。塩分や黄砂などの汚れをそのままにしておきますと腐食の発生原因となります。（水洗い後は、よく乾かしてください）

■網に油やほこりが付着しますと換気用通気のさまだけになりますので約3か月に1度を目安に清掃を行ってください。

- 掃除機などでほこりを吸い取る。掃除機が届かない場合は細いブラシなどで網に付着したほこりを清掃する。
- 汚れのひどい場合は、以下どちらかの方法で清掃する。
 - ・中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう布などでふき取る。
 - ・下開口部の網をはずして中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸してからきれいな水で洗い、よく乾かす。

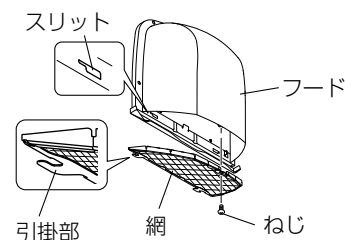
※下開口部の網の取りはずし、取付けかたは右図を参照してください。

①網を止めているねじ1本をゆるめ、網の引掛部を押し上げた状態で下に引き抜く。

②網の引掛部をワイド水切板のスリットに差し込み、元通り取付ける。

※0.9～1.4N・m以下の締付けトルクで締め付けてください。

■清掃・修理などの際にはシンナー・アルコール・その他化学薬品（酸・アルカリ洗剤）などの溶剤等を使用しないでください。腐食や変色・変質などの原因になります。



メルコエアテクノロジー株式会社